

物流業務自動化WEBセミナー

【第一部】

送り状発行業務の改善

～送り状名人～



ユーザックシステム 株式会社

物流業務における課題（１）

専用システム化



B2



飛伝



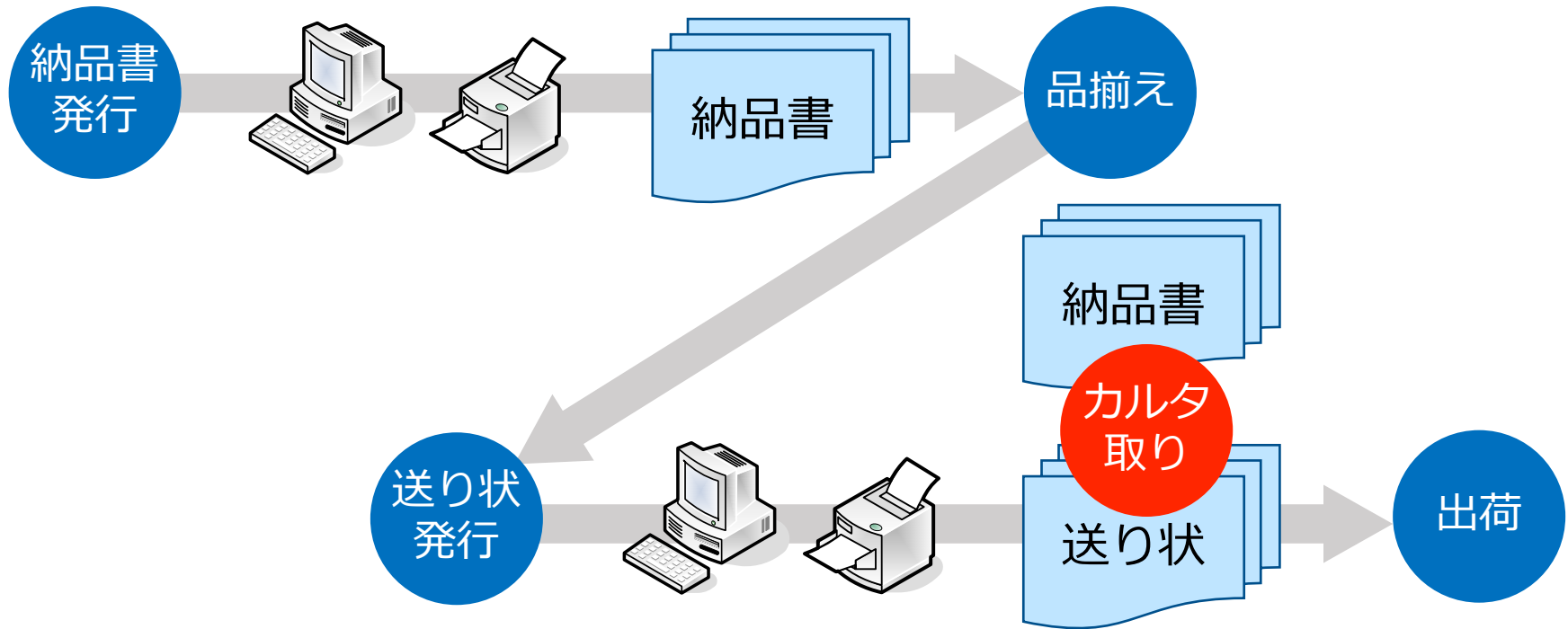
**カンガルー
マジック**

⇒各社ごとに操作性が違う

⇒上位のシステムと連携できない場合がある

物流業務における課題（２）

カルタ取り作業

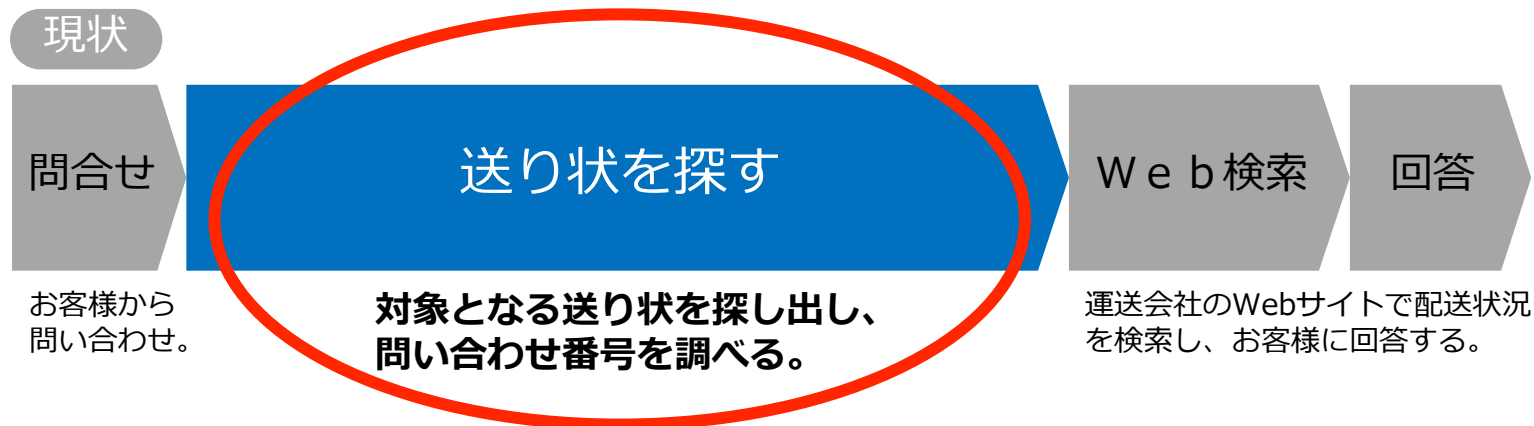


納品書と送り状ラベルの出カタイミングが異なる場合、
それぞれをセットする必要がある

⇒**短時間で高い物流品質を求められる**

物流業務における課題（３）

着荷問い合わせの対応



複写式の送り状「控え」を探す

- ・ 入荷、出荷作業の遅延に繋がる
- ・ 問合せ番号と、自社の伝票番号の両方を控える必要がある為、事前準備及び調査に時間が掛かる

⇒**着荷の問い合わせに対応できることが当たり前**

送り状発行業務の改善に取り組むべき理由

- 1 路線会社ごとの専用システム化により、現場のオペレーションが煩雑化
- 2 カルタ取り作業により、物流品質が低下
- 3 着荷問い合わせの対応により、社内コストが増加

⇒ **送り状発行業務の改善によって解決可能**

運送EDI・送り状レスとは？

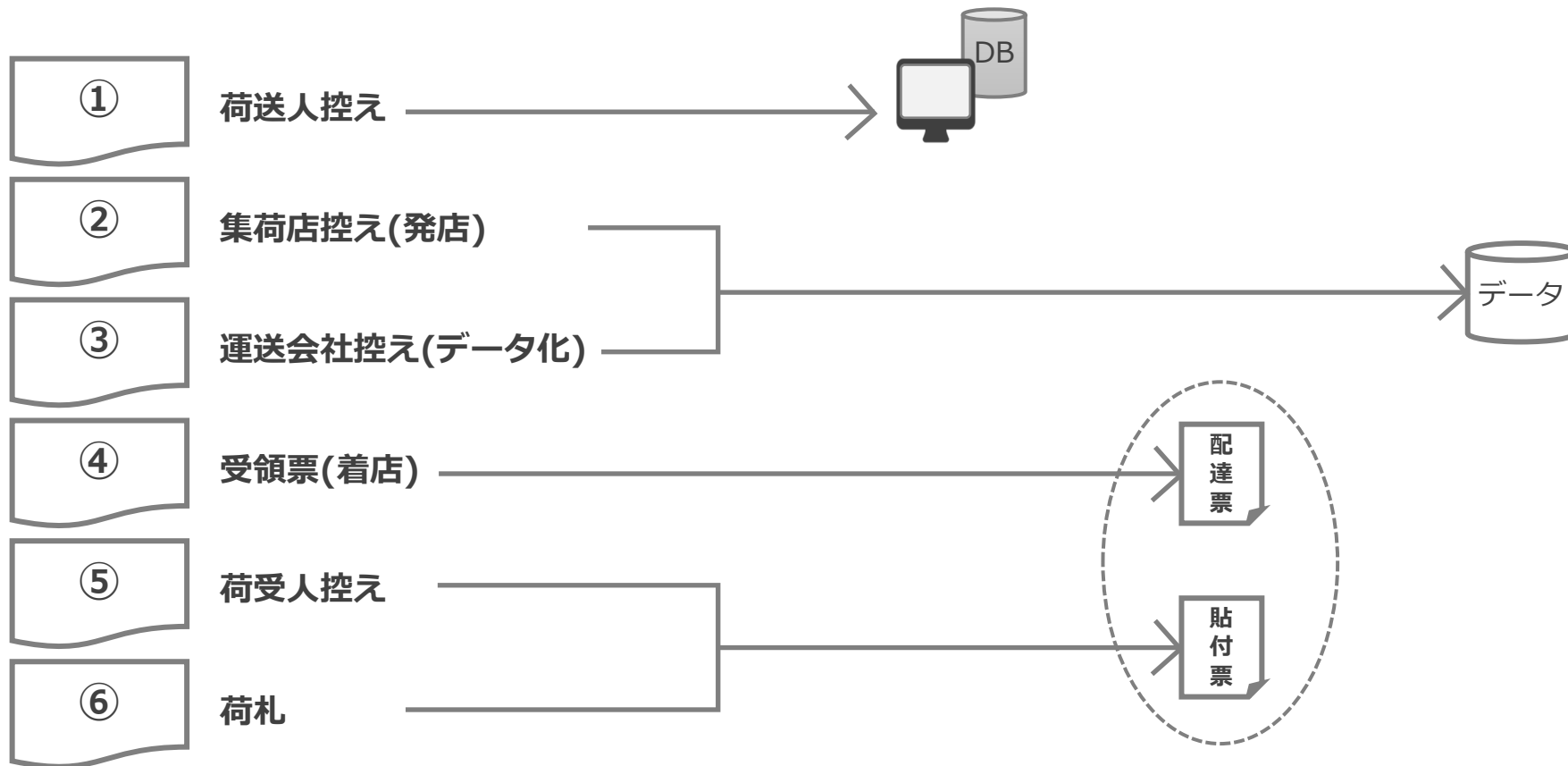
複写送り状



発行システム

ラベル(送り状レス)

データ(運送EDI)



送り状発行・荷物追跡業務を効率化

EDI対応 送り状・荷札発行システム

送り状 名入



ご紹介

特徴

1. 送り状の様々な発行形態に対応します

キーボードから入力して送り状、荷札を発行するほか、出荷指示書などのバーコードを読み取り発行することもできます。また、データを基幹システムから受け取るバッチ発行にも対応しています。

エントリ

基幹システム

バーコード



2. 基幹システムと連携できます

基幹システムや物流システムと連携し、発行時間の短縮や入力ミスを防止できます。また、発行済みデータのCSV出力も可能で、分析に役立ちます。



3. 複数の運送会社の送り状レスに対応します

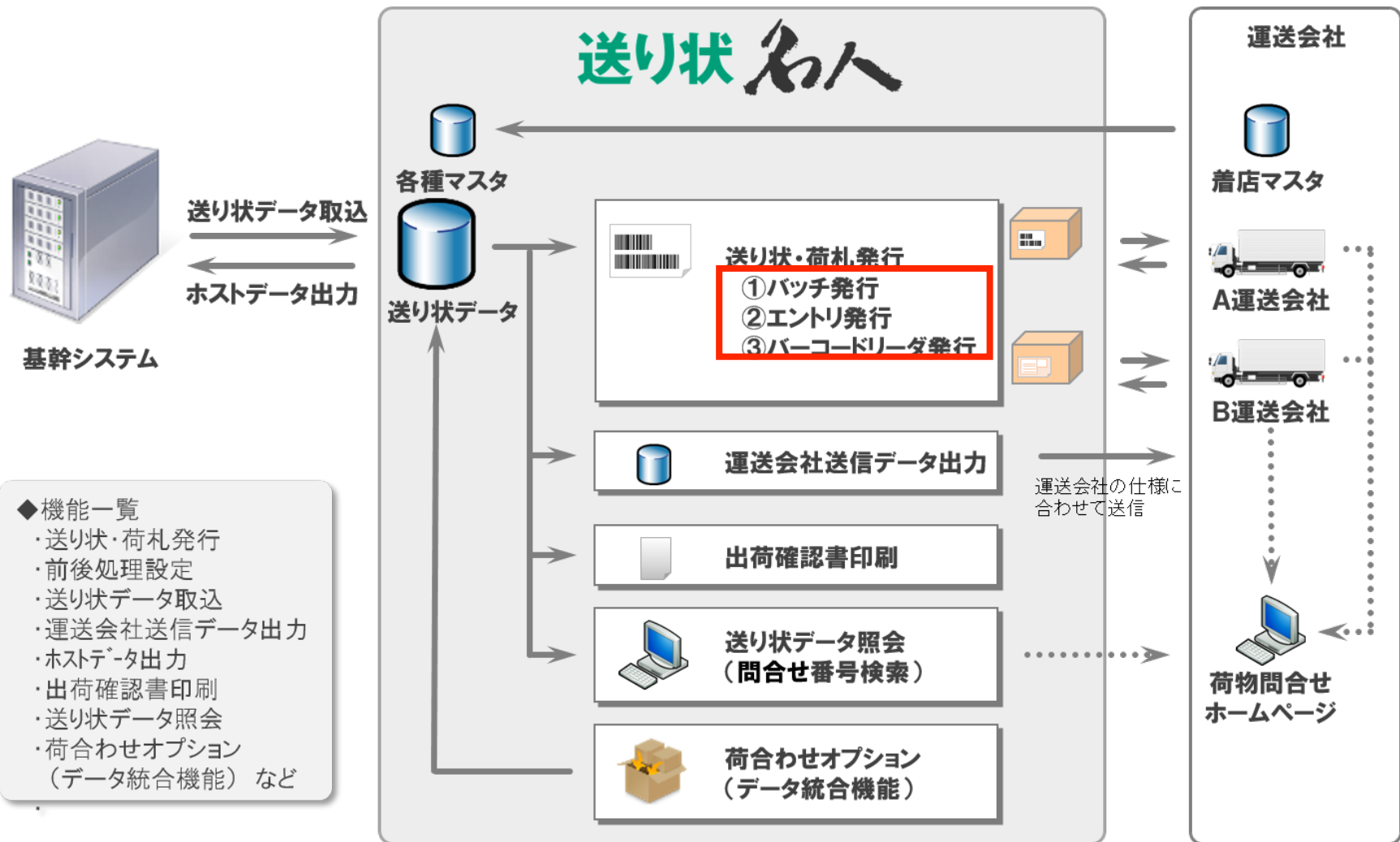
複数の運送会社とのEDIに対応しますので、運送会社ごとに送り状レスシステムを導入する必要はありません。



4. 荷物お問合せ番号を自社で採番し、運送会社と共有できます

送り状の問合せ番号を自社で管理できますので、配送状況の確認、問い合わせにスピーディに対応できます。

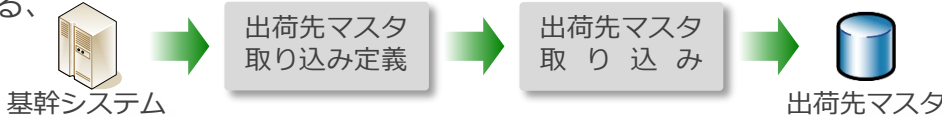
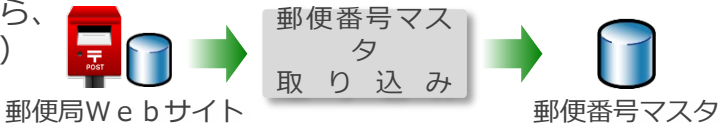
システム概要



機能ご紹介 | 導入準備

各種マスタの取り込み機能をご提供

出荷先マスタはホストから、着店マスタは運送会社から、郵便番号は郵便局のデータを取り込みます。

運送会社マスタ	問合せ番号・送り状発行形態などを登録
荷主マスタ	自社（発送元）の基本情報などを登録
備考マスタ	摘要欄に記載する内容（よく利用する）を登録
帳票マスタ	運送会社ごとの送り状レイアウトを登録
送信データ定義	運送会社ごとのデータ送信レイアウトを登録
出荷先マスタ	基幹システムから出力される、データレイアウトを設定 
着店マスタ	運送会社から提供される、データレイアウトを設定 
郵便番号マスタ	郵便局のWebサイトから、郵便番号データ（CSV）を取り込み 

送り状発行業務の改善に取り組むべき理由

- 1 路線会社ごとの専用システム化により、現場のオペレーションが煩雑化
- 2 カルタ取り作業により、物流品質が低下
- 3 着荷問い合わせの対応により、社内コストが増加

送り状名人は

- 1 路線会社ごとの専用システム化により、
現場のオペレーションが煩雑化
⇒ **統合システム化が可能**
- 2 カルタ取り作業により、物流品質が低下
⇒ **即時発行が可能なシステム**
発行タイミングを変更、カルタ取りをゼロに
- 3 着荷問い合わせの対応により、社内コストが増加
⇒ **発行データを利用し問合せ番号を管理**
スムーズな対応が可能に

送り状発行業務 改善事例ご紹介

アムハード小西株式会社 様

事業内容	建築金物卸売
従業員数	約 110 名
契約運送会社数	4社 + 自社配送
物流センター数	2 拠点
課題	・ 送り状の手入力への対応 ・ センター間の移動や手戻り ・ 問い合わせ対応

改善事例（１） | 課題①送り状の手入力

物流センター

センター内事務所

- 注文書・ピッキングリスト発行
- 送り状入力・発行
- 送り状再発行
- 不要な送り状データ削除

倉庫・出荷場

- ピッキング
- 出荷案内書発行
- 最終検品・梱包（個口数確定）
- 送り状貼付



・ 送り状発行場所と梱包作業場所が異なるため手戻りが発生
⇒ **時間のロス・作業の煩雑さ**

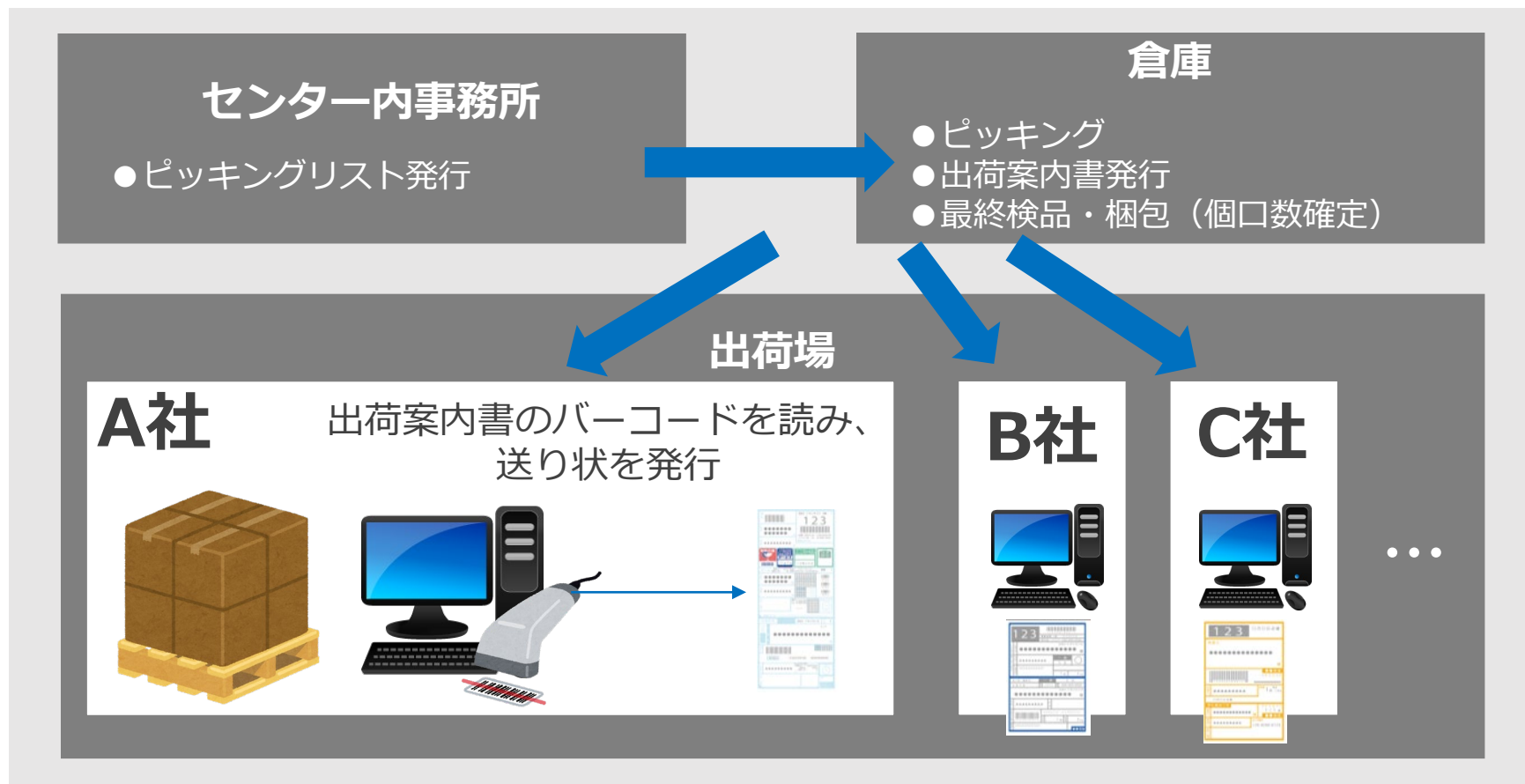
・ 送り状の手入力
⇒ **ミスの発生・時間のロス**

改善事例（１） | 課題②荷物の着荷問い合わせ



- ・ 配送状況の確認を直接受注センターが対応
⇒ **対応工数の発生**
- ・ 荷物の「どの箱」に入っているかの問い合わせ多
⇒ **対応工数・緊急出荷の費用発生**

改善事例（１） | 改善 現場運用フロー



- ・ 運送会社ごとに出荷場を分け、出荷場にて送り状を発行
- ・ 出荷案内書にバーコードを記載し、入力の手間を削減

改善事例（１） | 改善 電話対応

● 送り状名人と連携したWEB照会システム



※画面イメージ

受注日	売上日	出荷日	到着日	得CD	得意先名	PDF	受注No
10/28	10/29	10/29	10/31	0011	〇〇〇		1029001
10/28	10/29	10/29	10/31	0013	△△		1029010
10/28	10/29	10/29	10/31	0019	×××		1029107

納品先	問い合わせ番号	運送会社追跡サイト
〇〇〇大阪支社	20191029188	http://opdihaopnjo
〇〇〇大阪支社	20191029199	http://dgiaudgfaiy

出荷案内書



- ・ 送り状名人のDBと連携したWEBシステムを開発
問合せ番号をリアルタイムに確認でき、かつ運送会社の追跡サイトにワンクリックで飛ぶことが可能
- ・ 出荷案内書を添付し、荷物の梱包状況を確認可能

改善事例（１） | 改善定量効果

問合せ
対応工数
削減

**50%以上
削減**

作業時間
短縮

出荷作業時間が
15分⇒8分に
47%削減

人員
削減

5.5名⇒2名へ
70%削減

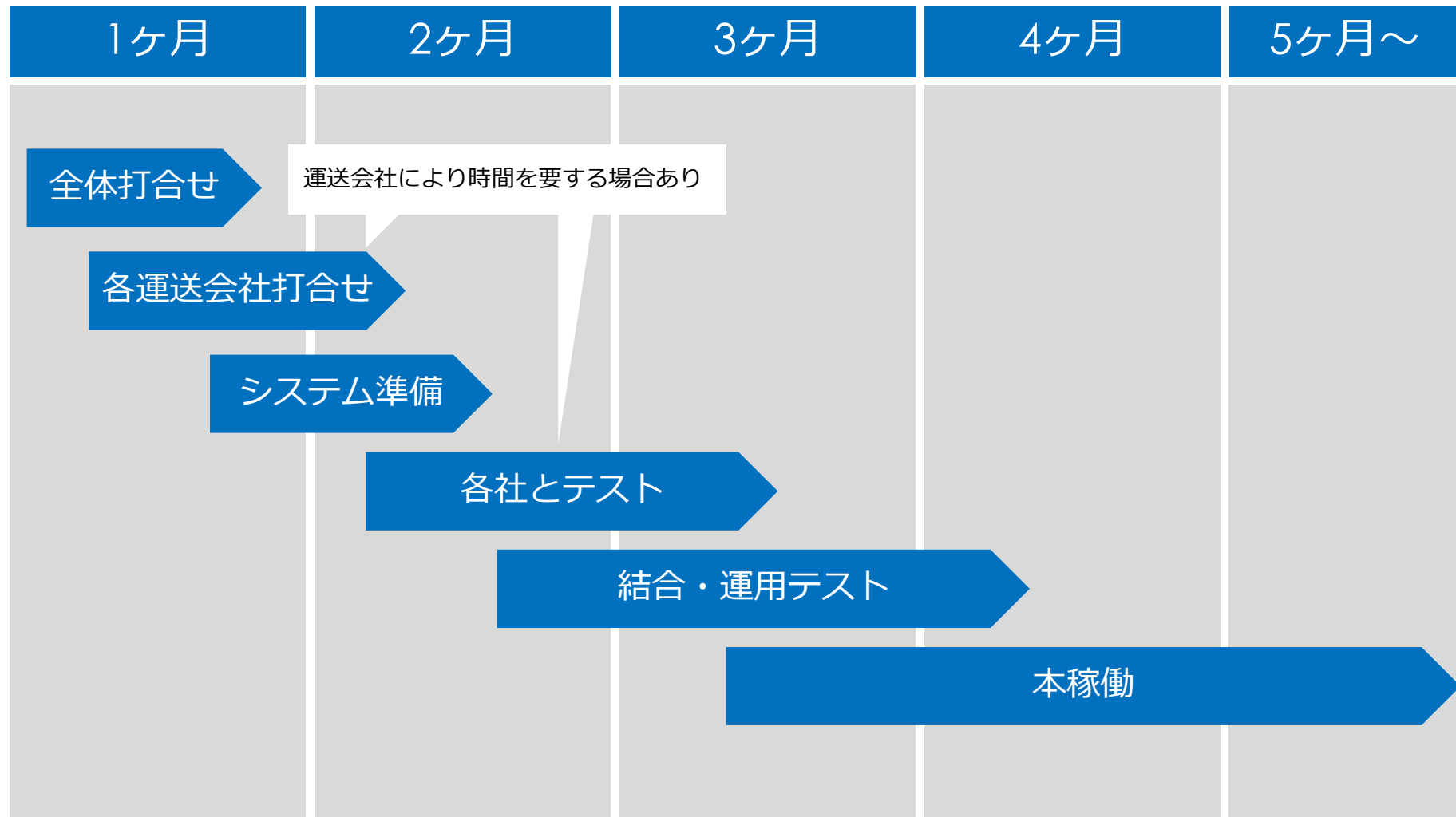
まとめ

- 1 統合システムを利用し、オペレーションの統一を
- 2 即時発行機能を利用し、カルタ取り作業を撲滅
- 3 実績データを活用し、問合せ対応を省力化

⇒ **送り状業務の改善が、
物流業務全体の改善につながる**

送り状名人の 導入イメージ

全体スケジュール



ご清聴ありがとうございました

あなたの満足が私たち名人の誇りです

ユーザックシステム株式会社

東京本社

〒104-0033

東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル4F

TEL.03-6661-1210 FAX.03-5643-0909

大阪本社

〒541-0048

大阪市中央区瓦町1-6-10 JPビル3F

TEL.06-6228-1383 FAX.06-6228-1380

<http://www.usknet.com>

meijin@usknet.co.jp